

21年度政務調査費収支報告

(単位:円)

科 目	金 額	
研究研修費	45,700	研修会参加費
調査研究費	5,670	調査時駐車場料等
資料作成費	6,003	文具代
資料購入費	139,844	書籍代等
広報公聴費	96,784	広報用コピー用紙・会場料
人 件 費	0	
合 計	294,001	

H21年度の政務調査費96万円(月8万円×12ヶ月)の内、左表のように約29万4千円を使わせていただき、残金の約66万6千円は市に返金しました。

研究研修としては、多摩住民自治研究所主催の「議員の学校」で地方財政や議会改革について2日間の講義、日本生態系協会主催の

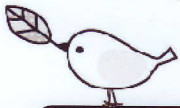
政策塾に参加し、新しい自治体のあり方等を学んだ他、シンポジウム等無料の勉強会に参加しました。

資料として購入した書籍は『自治・議会基本条例論』『ごみハンドブック』『自治と参加・協働』『成功するコミュニティバス』『情報公開で進める自治体改革』『「自治体憲法」創出の平地と課題』『全国都市区の行政比較調査データ集』『体験交流型ツーリズムの手法』『生活支援の地域公共交通』『地域再生と町内会・自治会』『農産物直売所』『地方都市圏の交通とまちづくり』等です。

新聞代も資料購入費での支払いが認められていますが、私はすべて請求していません。

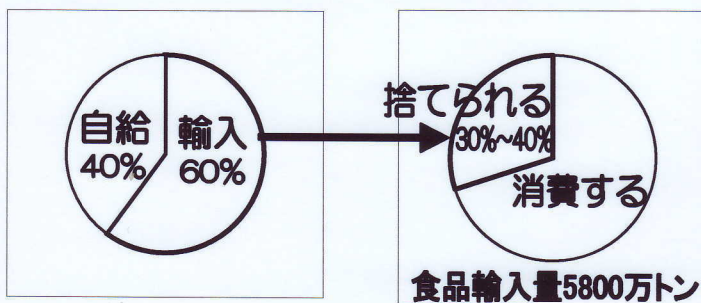
広報公聴費はその多くが紙代です。議会報告は今回もほとんど手配りなため郵送費はわずかです。

* 政務調査費の領収書は議会事務局(市役所6F)で閲覧することができます。



シリーズ環境問題⑪・・・外国から買っているのに捨てる国

日本の食品の約60%は世界から輸入した物です。日本が輸入している食品は約5800万トン、日本で捨てられる食品の量は1900万トンとも2300万トンとも言われています。世界から買った食品の3分の1以上を捨てていることになります。

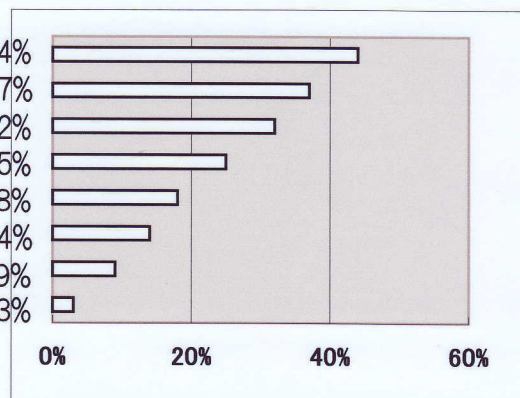


世界の水を使う日本

食料を輸入しているということは、農作物などの輸入品の生産に必要な水を使っているということです。その量438.6億キロリットル。世界中の水不足は私たちにも関係があるのです。

捨てられた食べ物の半分以上は家庭から出ています。

古くて食べられない・・・44%
賞味期限が過ぎている・・・37%
腐ったりカビが生えたりしている・・・32%
少しあまった・・・25%
製造年月日が古い・・・18%
食事をしない家族がいた・・・14%
好みでない・・・9%
その他・・・3%



買いすぎ注意!

作りすぎ注意!

残さず食べる!

上のグラフからも、手もつけられずに捨てられている食品が多いことがわかります。世界では、毎日2万5千人が食べ物がないで死んでいくと言われています。私たちが日々の生活の中で何ができるのか、どんな小さなことでも自ら考えて行動しましょう。

(参考資料 世界と地球の困った現実 明石書店より)